

乳腺の臨床を支える超音波検査

がん研究振興財団発表の2014年推計値によると、乳癌は女性の癌罹患数全38万人中23%を占め、部位別では第1位、死亡数は全女性15万人中9%を占め、第5位でした。本特集は、乳癌を中心に、乳腺の臨床を支える超音波検査の現在をお伝えし、また、研鑽を積むパワーにさせていただくことを目的として企画しました。

具体的には、乳房病変の疫学的特徴や危険因子を含めた総論、乳癌検診における超音波検査の知っておくべき長所と克服すべき課題、乳房造影超音波検査の有用性、乳房組織の硬さを画像化する超音波エラストグラフィの技術的進化を解説いただきました。

また、術後、長い時を経て出現する乳癌の再発や遠隔転移と超音波検査のかかわり、さらに治療面では、HER2陽性乳癌の予後を劇的に改善した分子標的療法と心臓超音波検査による心筋副作用検索の必要性についても盛り込んであります。充実した読み応えある内容をぜひご完読ください。（三浦 純子）